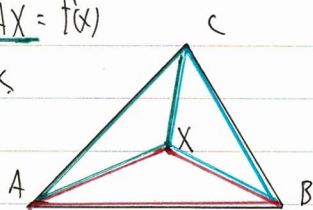


2020 東大数学 理系 第2問

$\Delta ABX + \Delta BCX + \Delta CAX = f(x)$

※ 二の色分けで書きます。
とある



(i) Xが△ABCの周及び内部

にある。(右上図)

$f(x) = \Delta ABC = 1$ と仮定する。

$2 \leq f(x) \leq 3$ を満たさねば。

以下、Xは△ABCの外側にある場合を考える。

点A, B, Cについて、対称性があるため、以下は点Aの“逆側”だけ考える。

点Xが存在する場所について。

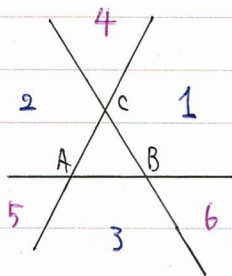
右のように名前をつける。

1番の場合と4番の場合を調べ

ても一般性を失わない

1番を調べれば、2と3も同様に示せる

4番 : 5と6 : 示せる

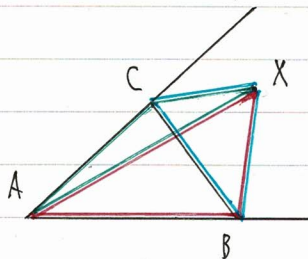


(ii) 点Xが1番にある時。

$f(x) = \Delta ABX + \Delta BCX + \Delta ACX$

$= \Delta ABC + 2\Delta BCX$

$= 1 + 2\Delta BCX$



よって $2 \leq 1 + 2\Delta BCX \leq 3$

⇔ $\frac{1}{2} \leq \Delta BCX \leq 1$ と仮定する点Xの場所を調べればよい。

ここで、BCを底辺とみる。

右の如くBCに平行な直線 l, m, n を引き、

点の名前をつける。

但し、 $AC : CP_1 : P_1Q_1 = AB : BR_1 : R_1S_1 = 1 : \frac{1}{2} : \frac{1}{2}$

すると、点Xが、線分 P_1R_1 , 線分 Q_1S_1 上にあるとき、

$\Delta BCX = \frac{1}{2}$, $\Delta BCX = 1$ になる。

つまり直線 P_1R_1 は $\Delta BCX = \frac{1}{2}$, 直線 Q_1S_1 は $\Delta BCX = 1$ と仮定直線

よって、 $\frac{1}{2} \leq \Delta BCX \leq 1$ を満たす点Xは、

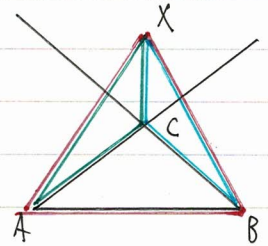
台形 $P_1R_1Q_1S_1$ の周及び内部にあればよい。

(iii) 点Xが4番にある時。

$f(x) = \Delta ABX + \Delta BCX + \Delta ACX$

$= 2\Delta ABX - \Delta ABC$

$= 2\Delta ABX - 1$



よって $2 \leq 2\Delta ABX - 1 \leq 3$

⇔ $\frac{3}{2} \leq \Delta ABX \leq 2$ と仮定する点Xの場所を調べればよい。

ここで、ABを底辺とみる。

ABに平行な直線を引く。 (l_2, m_2, n_2)

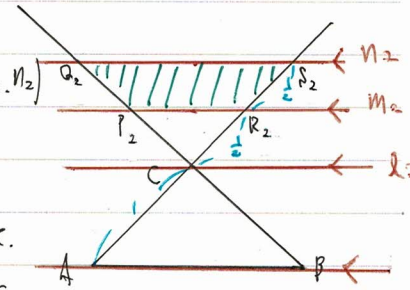
右のように、 P_2, Q_2, R_2, S_2 を

定義する。

$AC : CR_2 : R_2S_2 = 1 : \frac{1}{2} : \frac{1}{2}$ と仮定。

点Xが、線分 P_2R_2 , 線分 Q_2S_2 上に

あるとき、 $\Delta ABX = \frac{3}{2}$, $\Delta ABX = 2$ と仮定



よって、台形 $P_2R_2Q_2S_2$ の周及び内部にあり、

$\frac{3}{2} \leq \Delta ABX \leq 2$ を満たす。

以上の議論を、1, 4以外にも、2, 3, 5, 6の領域に適用して、

図示すると、右のよう。

面積に関して。

(ii) の台形 $P_1Q_1R_1S_1$ の

面積は、

$\Delta ABC \sim \Delta AB_1P_1 \sim \Delta AB_1Q_1$

の相似比が $1 : \frac{3}{2} : 2$ となる。

$2^2 - (\frac{3}{2})^2 = \frac{7}{4}$

(iii) の台形 $P_2R_2Q_2S_2$ も同様に $1 - (\frac{1}{2})^2 = \frac{3}{4}$

よって、求める面積は、 $(\frac{7}{4} + \frac{3}{4}) \times 3 = \frac{15}{2}$

